

SSルーフ施工説明書



①屋根下地作成

コンパネ、野地板等で屋根下地を造ります。しっかりと、平にコンパネ、野地板等を敷き詰めます。



②ルーフィング・ケラバ一体役物の取付

ルーフィングを前面に敷き詰めケラバ一体役物(右・左)を取り付けます。

ケラバ沿いに木材(24ミリX52ミリ)を取り付けます。

ルーフィングは専用タッカーを使用するときれいに施工できます。

この時点でタルキの位置をマーキングしておく、屋根本体の取付時の釘打ちが楽になります。



③ケラバ一体役物加工

ケラバ一体役物を左図、上図のように切り込みをいれ加工します。

このように加工しますとジョイントが楽になります。

SSルーフ施工説明書



④ケラバの取付け
切込を入れた部分に差込ケラバを取り付けます。

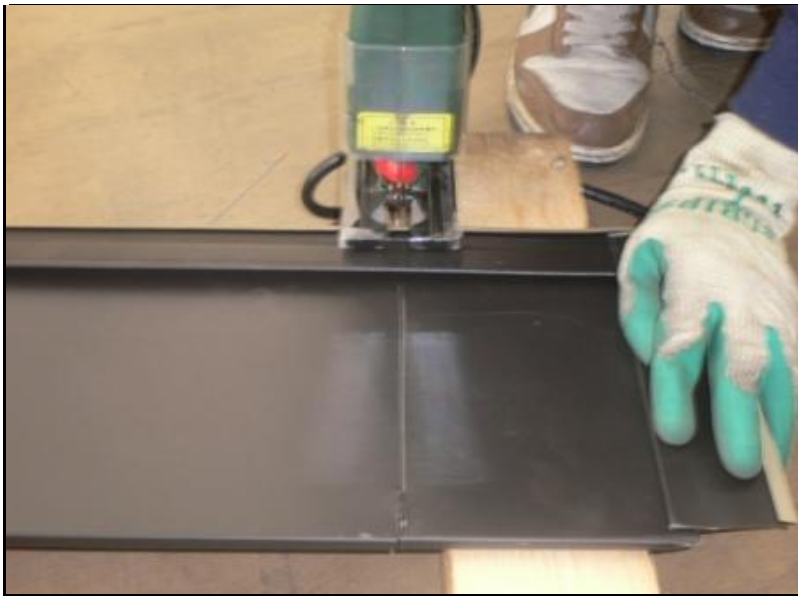


⑤捨唐草の取付
ケラバと同じように切込部分に差込、捨唐草を取り付けます。
全体的に真直ぐに取り付けしてください。
捨唐草はタルキにスクルー釘等でしっかり取り付けてください。





ケラバ納 部分

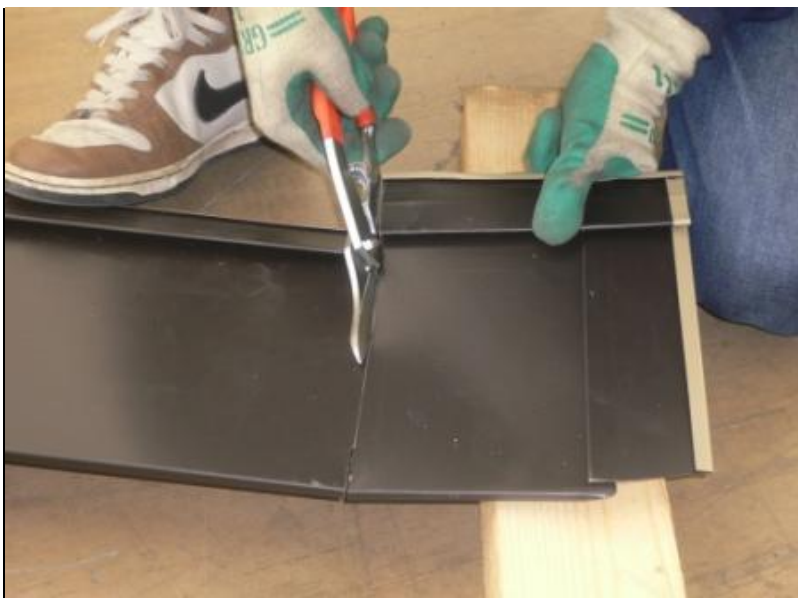


⑥ 本体の切断

ケラバの内々寸法を測り本体を切断します。上ハゼ、下ハゼ（ジョイント）部分はジグソー等で切断すると、ハゼが潰れませんか。高速カッター等で切断しますと、下地の鉄板が焼けて、塗層面が剥れてしまいますのでご注意ください。

平らな部分は万能ハサミ、板金ハサミ等で切断します。

切断位置は横ジョイントの位置を考えに入れて、決めます。横ジョイントを斜めに入れる、千鳥に入れる、等で意匠性を出すことができます。



SSルーフ施工説明書



⑦SSルーフ本体の取付
軒先から見て、左側から葺いて
行きます。

捨唐草に本体の下ジョイント、ケ
ラバの内側にしっかりはめ込み
取り付けます。

スクリュー釘等で廻りにしっかり
取り付けます。釘の位置は左
下の写真を参照してください。
釘は本体一枚当り4本程度を
目安とします。



SSルーフ本体の釘打



SSルーフ本体1段目左端部

SSルーフ施工説明書



⑧ 本体のジョイント

本体の上ハゼにジョイントする本体の下ハゼを横方向にしっかり差し込みます。

次に上方向に差込みます。

次に、木槌等でしっかりはめ込みます。木槌がない場合は、木片を当ててハンマー等でたたいてはめ込みます。

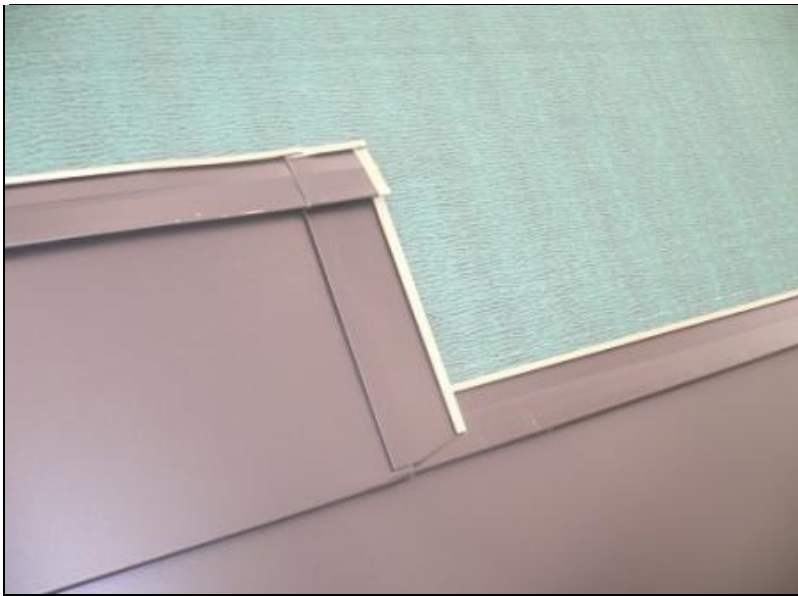
上下しっかり納まっていること、真直ぐに取付されていることを確認して、釘止めします。



SSルーフ施工説明書



ジョイント部分をしっかり納めます。

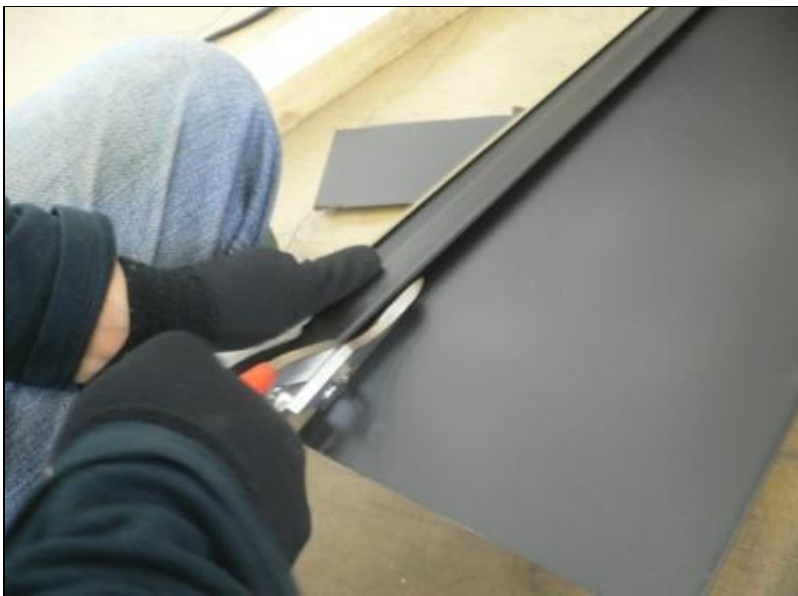


⑨ 2段目の取付

1段目と同じ方法で左側より施工していきます。

切断残で上ハゼが残っている本体を左側に使用しますと、ロスが少なくなります。

同様に3段目、4段目と葺いていきます。



⑩ 最上段の加工

最上段の流れ方向の寸法を測り本体を横方向に切断します。

SSルーフ施工説明書



⑪ 棟部の施工

最上段の流寸法に切断した
本体を取り付けます。次に棟
板(9^{ミリ}厚×90^{ミリ}程度)を釘で
取付棟をかぶせます。



SSルーフ施工説明書



端部加工図(片棟仕様)。両棟仕様の場合巴を使用するときれいに納まります。



某ホームセンターでの屋根相談会での施工手順の写真